

# オープンデータ推奨データセットの CSV ファイルへの緯度経度の記入方法

北海道総合政策部情報統計局情報政策課作成

2019 年 2 月 (Ver3)

## 1. はじめに

都道府県や市町村でオープンデータを公開しようとするとき、「推奨データセットフォーマット (<https://cio.go.jp/policy-opendata>)」で、CSVファイルもしくはExcelファイルでオープンデータを作成する場合があります。「推奨データセットフォーマット」には、施設などの「緯度」「経度」を入力する欄がありますが、どのように緯度経度を取得したらよいかわからない場合もあると思います。

購入した地図ソフトや GIS がある場合には、そちらを利用して緯度経度を取得すればいいと思いますが、それらが無い場合の緯度経度の取得方法、正しく入力されているかの確認方法について説明します。

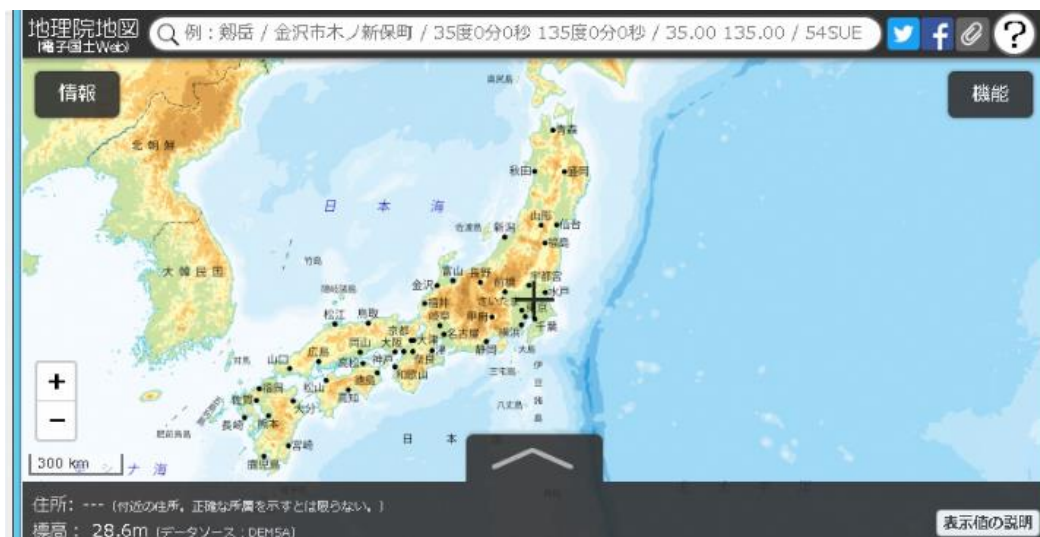
## 2. 地理院地図による緯度経度の取得

簡単に緯度経度を取得する場合には、国土地理院の「地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp>)」を利用すると簡単です。(インターネット接続が必要ですので、インターネット環境で作業してください。)

以下の手順は、すでに Excel で施設の情報を入力していると仮定して説明しています。

### [手順1]

インターネットブラウザで地理院地図にアクセスします。




## [手順2]

緯度経度を確認したい地点に地図を移動し、中心の十字を確認したい地点に合わせます。



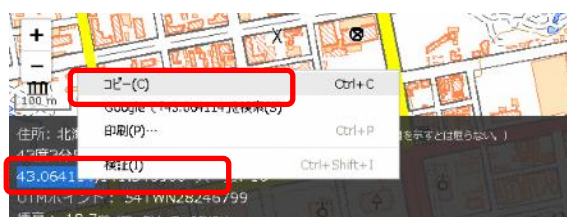
## [手順3]

地図の下に黒い帯に付いている、 をクリックします。



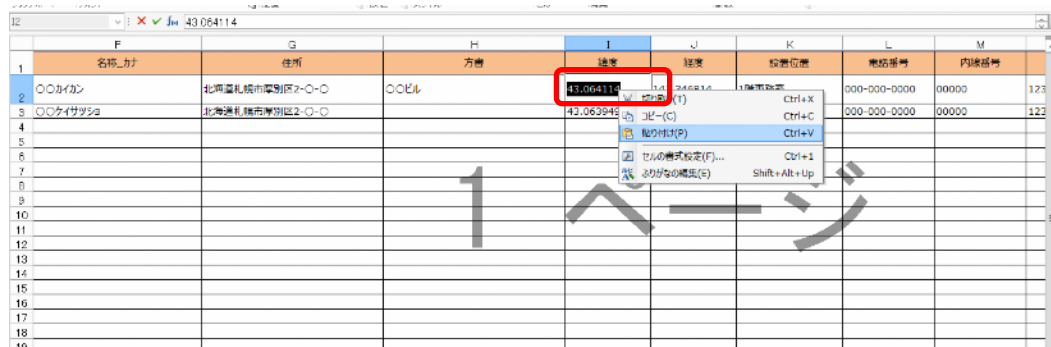
## [手順4]

左下に十進数の緯度経度(地図中心の十字の位置)が表示されているので、選択してコピーします。



### [手順5]

Excel ファイルに画面を移動し、「緯度」欄にコピーした数値を貼り付けます。  
「経度」も同じようにコピーして貼り付けます。

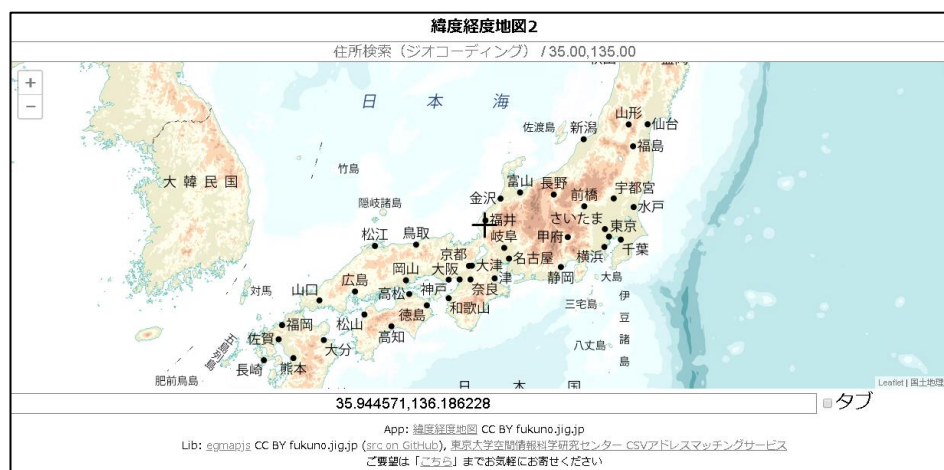


## 3. Web アプリ「緯度経度地図2」による緯度経度の取得

福井県のオープンデータ伝道師福野氏が作成した「緯度経度地図2」(<http://fukuno.jig.jp/app/map/latlng/>)という Web アプリを使うと、緯度経度のコピー貼り付けを簡単に行うことが可能です。

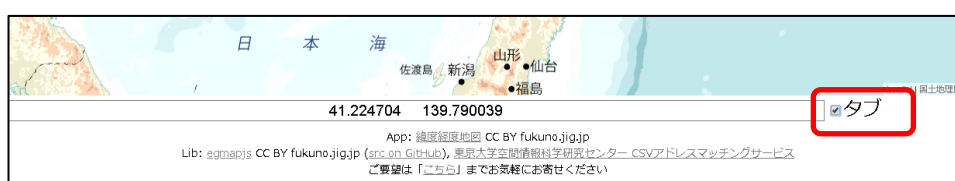
### [手順1]

インターネットブラウザで「緯度経度地図2」(<http://fukuno.jig.jp/app/map/latlng/>)」にアクセスします。



### [手順2]

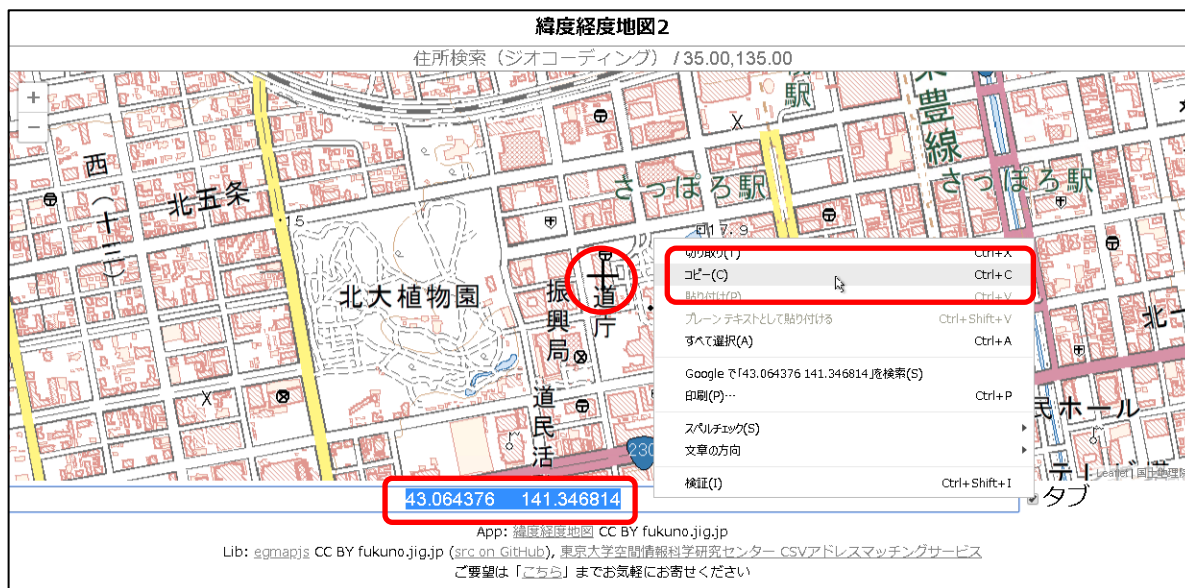
準備として、「タブ」にチェックを付けます。これにより、一度のコピーでいっぺんに緯度経度を Excel に貼り付けることが可能です。





### [手順3]

緯度経度を取得したい場所を地図の中心の十字に合わせ、緯度経度を選択してコピーします。



### [手順4]

Excel で、緯度または、経度のセルにデータを貼り付けます。緯度経度は一度の操作でいっぺんに貼り付けることが可能です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	都道府県	NO	都道府県市区町村	名称	カナ	名称	通称	POIコード	住所	方書	緯度	経度	電話番号	内線番号
2			北海道		北海道庁	ほっかいどう	ちやう				43.064376	141.346814		
3														
4														

## 4. GoogleMap は使ったらダメなのか？

建物などを検索して正確な位置が確認できる、「GoogleMap」で緯度経度を確認してはダメなのでしょうか？ 答えは「NO」です。

GoogleMap で取得できる位置情報は、GoogleMap の利用規約に従う必要があります。Google の利用規約はアメリカの利用規約を流用した文章であるため、少しわかりづらい部分があります。また、日本の GoogleMap はゼンリンの地図を使っているため、地図を利用する際は、ゼンリンの利用規約に従う必要もあります。解釈によっては、位置情報を地球上どこでも同じだろうということで自由に使えるように思えますが、建物や道路と位置情報を合わせているのは Google (ゼンリン) ですので、位置情報の著作権はゼンリンにあるといえます。これを無断で使うと利用規約違反です。

GoogleMap から緯度経度を取得するのは NG ですが、たとえばスマートフォンの GoogleMap で建物を検索し、同じ位置を地理院地図で探し出し、地理院地図から緯度経度を取得するのであれば問題はないと思います。

## 5. 北海道施設位置情報データベースを利用

北海道オープンデータポータルサイトに「北海道施設位置情報データベース」というデータが登録されています。このデータは、北海道情報政策課が作成したもので、国土数値情報や既に公開されているオープンデータを利用して作成したデータベースです。

施設の名称などで、緯度経度を検索することが出来る Excel ファイルですので、市町村名などで検索したり、Vlookup 関数で検索したりすることが出来ます。多分5～7割くらいは探すことが出来ると思いますので、是非活用してください。

また、新たに緯度経度を設定した施設情報をオープンデータにした場合、データベースに登録も行いますので、北海道情報政策課に連絡をお願いします。

## 6. 作成した CSV の確認は「ひなた GIS」でおこなう

入力した緯度経度に間違いがないか確認するためには、WebGIS「ひなた GIS」(<https://hgis.pref.miyazaki.lg.jp/hinata/hinata.html>)を使います。「ひなた GIS」は宮崎県庁で開発した WebGIS でオープンデータを地図上に表現できる多彩な機能を持っています。

ひなた GIS の機能は、Internet Explorer だと機能しないものもあるため、GoogleChrome などのブラウザを使いましょう。

### [手順1]

ブラウザ GoogleChrome で「ひなた GIS」にアクセスします。



### [手順2]

CSV ファイルを地図上にドラッグ＆ドロップします。(インターネットエクスプローラーだと、機能しない場合があります)



### [手順3]

地図上に CSV に記録された緯度経度でポイントが表示されます。



### [手順4]

地図を拡大して、場所が合っているか確認します。  
ポイントをクリックすると、CSV の情報も表示されます。



以上